

令和元年度

横浜国立大学教育学部附属横浜中学校

研究発表会のご案内(第1次)

令和元年9月

横浜国立大学教育学部附属横浜中学校

校長 松原 雅俊

<http://www.yokochu-ynu.com/>

## 研究主題：新しい時代に必要となる資質・能力の育成への試みⅤ ～「学びに向かう力」を育む指導と評価のあり方～

令和元年度の研究発表会を次のとおり開催いたします。ご多用のことと存じますが、ご参会いただき、ご指導・ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

期日：令和2年2月21日(金)：数学・理科・美術・保健体育・家庭

令和2年2月22日(土)：国語・社会・音楽・技術・英語 / 総合（協議会にて実践報告）

会場：横浜国立大学教育学部附属横浜中学校（神奈川県横浜市南区大岡2-31-3 地下鉄弘明寺駅1分 京浜急行弘明寺駅8分）

内容：各教科による公開授業(AM)，全体講演・研究協議(PM)

○ 基調提案に沿って教科ごとに研究授業を行います。

全体講演では1日目と2日目で別々の講演者の先生に本校の研究テーマに沿ってそれぞれの視点でご講演いただきます。

**1日目：東良 雅人 先生【文部科学省初等中等教育局 視学官】**

**2日目：石井 英真 先生【京都大学大学院 教育学研究科准教授】**

○ AM:公開授業後に、生徒による授業評価を予定しております。

○ PM:全体講演の前に、生徒による『総合的な学習の時間（本校での名称…TOFY）』における成果発表を、研究協議の中では共同研究者（横浜国立大学）からの提案を予定しております。

○ 2次案内は12月中旬を予定しています。参加申込は12月下旬から本校ホームページで受け付けいたします。

### 今年度の研究主題について

生徒自身が学びの深まりを実感し、新たな学びを主体的に探究していくためには、「学びに向かう力」を自ら高めようと試みたり、その高まりを自覚したり価値付けたりできるようになることが重要となります。私たち教師は、学習活動を通じてその力を育てていくために、どのように授業を構想し、どのような工夫を施すべきでしょうか。そして、可視化しづらい内面的な情意の高まりを実感させるには、どのような支援が効果的でしょうか。教科の本質に根差した授業やTOFY活動を軸に据えたカリキュラムから、これからの時代に求められる授業と、生徒が学びに向かう様を適切に価値付けられる評価のあるべき姿について提案いたします。



お問い合わせ先：研究主任 池田 純

E-mail: [ikedajun-tp@ynu.ac.jp](mailto:ikedajun-tp@ynu.ac.jp)